

平成 17 年度

生涯学習基礎調査  
実施報告書(案)

調査期間：平成 17 年 9 月～10 月

集計・分析期間：平成 17 年 10 月～11 月

釜石市

# 釜石市民への生涯学習に関するアンケート調査書

## 釜石市生涯学習基礎調査のお願い

このたび釜石市教育委員会では、平成12年度に策定した釜石市社会教育行政中期計画に代わるものとして、更に内容・事業範囲を拡大した釜石市生涯学習推進計画を策定いたします。推進計画の策定にあたり、その基礎資料とするために、市民の皆様の生涯学習の様子、そして生涯学習に対する意識や学習の実態などを知るためアンケートを実施したいと考えております。

つきましては、20代から70代までの市民の皆様から1,800名の方を無作為に選ばせていただき、アンケートをお願いすることいたしました。お忙しいところご面倒をおかけしますが、ご協力くださいますようお願いいたします。

**回答期限 = 平成17年10月7日(金)までに同封の返信用封筒に入れ投函してください。**

釜石市教育委員会

平成17年8月末日現在でお答え願います。

問1 あなた自身についてお答えください (番号に )

性別	1. 男性	2. 女性
年齢	1. 20～29歳	4. 50～59歳
	2. 30～39歳	5. 60～69歳
	3. 40～49歳	6. 70～79歳
住んでいる地区	1. 本庁地区(釜石、白山、平田、尾崎小学校学区)	
	2. 中妻地区(双葉小学校学区)	
	3. 小佐野地区(小佐野小学校学区)	
	4. 甲子地区(甲子小学校学区)	
	5. 大橋地区(大松小学校学区)	
	6. 鶴住居地区(鶴住居、箱崎、白浜、栗林小学校学区)	
	7. 橋野地区(橋野小中学校学区)	
	8. 唐丹地区(唐丹小学校学区)	
職業等	1. 農・林業	6. サービス業
	2. 漁業	7. 主婦
	3. 会社員	8. 無職
	4. 公務員	9. その他(具体的に)
	5. 自営業	( )

問2 あなたは釜石市に住んで何年になりますか(番号に )

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. 5年未満       | 4. 15年以上20年未満 |
| 2. 5年以上10年未満  | 5. 20年以上      |
| 3. 10年以上15年未満 | 6. 生まれてから現在まで |

問3 あなたはこれからずっと釜石に住みたいと思いますか(番号に )

1. 住みたいと思う
2. 住みたいが、工作上転居がありうる
3. 住みたいとは思わない
4. わからない

問3で 3. 住みたいとは思わないと答えた方

問3- 「住みたいとは思わない」理由を教えてください。  
( )

問4 あなたは、毎日の生活の中で「生きがい」を感じているのはどんなときですか。あなたの考えにもっとも近いものを一つ選んでください。(番号に )

1. 仕事(本業)をしているとき
  2. 家族とのだんらんをしているとき
  3. 趣味やスポーツ、旅行をしているとき
  4. 社会に対しての活動(ボランティアなど)をしているとき
  5. そのほか(具体的に)
- ( )

問5 あなたは生涯学習という言葉聞いたことがありますか。(番号に )

1. 聞いたことがある
2. 聞いたことがない

問6 生涯学習とは、生涯にわたり自分から進んで「学び」(工作上参考となる学び、資格取得、趣味、スポーツを含む)を続けることと言われておりますが、あなたはこのことについてどう思いますか。次の中から一つ選んでください。(番号に )

1. 大切なことと思う
2. どちらかと言えば大切なことと思う
3. どちらとも言えない
4. あまり大切なこととは思わない
5. 大切なこととは思わない

問7 あなたの日ごろの「学び」についておたずねします。あなたはこの一年間に何らかの「学び」をしましたか。次の中から選んでください。(番号に )

1. 何らかの「学び」を行った 問7の ~ に進んでください
2. 特に行わなかった。 問7の に進んでください

裏面へ

「学び」とは

この調査で「学び」とは、一人ひとりが仕事や生活に役立  
てたり、健康やいきがい、楽しみのため、または自己実現の  
ために何らかの知識や技術を身につけるための活動を言い  
ます。

市や民間団体が行っている講座・講演会、自主グループや  
サークルなどの活動、個人的にはテレビ・ラジオ等を利用し  
た学びなどがあります。

(問い7で、1.「学びを行った」と答えた人)

問い7 - この一年間、何回くらい行いましたか(番号  
に )

- 1. 1回
- 2. 2回~5回程度
- 3. 6回~8回程度
- 4. 9回~15回程度
- 5. 16回以上

問い7 - 「学び」をしたきっかけは、次のどれが最も大  
きい要因ですか。一つだけ選んでください(番号  
に )

- 1. テレビ・ラジオで
- 2. 新聞を見て
- 3. 県・市の広報などで
- 4. 公民館、働く婦人の家、図書館などのチラシで
- 5. 地区や会社からの情報で
- 6. 自分から進んで
- 7. 友人、知人のすすめで
- 8. そのほか(具体的にお書きください)

問い7 - それではあなたは、どのような「学び」をし  
ましたか。次の中から該当するもの全てを選んでく  
ださい。(番号に )

- 1. 趣味的なもの(音楽、美術、写真、華道、書道、舞踊など)
- 2. 教養的なもの(文学、歴史、語学、科学など)
- 3. 社会問題(環境、男女共同参画、時事問題、国際問題など)
- 4. 健康管理(スポーツ、健康法、医学、栄養など)
- 5. 家庭生活(料理、裁縫、家計、介護など)
- 6. 育児・教育(乳幼児教育、しつけ、教育問題など)
- 7. 職業上必要な知識、技能(仕事に関係のある知識の習得、  
機械操作、コンピュータなど)
- 8. そのほか(具体的にお書きください)

問い7 - 「学び」をした場所はどこですか。最も利用回  
数の多い場所を一つだけ選んでください。(番号  
に )

- 1. 公民館(分館)
- 2. 集会所
- 3. 市民文化会館
- 4. 市立図書館
- 5. 働く婦人の家
- 6. 市民交流センター・プール
- 7. 勤務場所
- 8. 農協・漁協
- 9. 学校
- 10. 農林漁業センターなど
- 11. 自宅
- 12. そのほか(具体的に)

(問い7で、2「特にしなかった」と答えた人)

問い7 - 「学び」をしなかった理由のうち、最もあなたの  
状況に近いもの一つだけ選んでください。(番号に  
 )

- 1. 仕事や家事、育児等で忙しく時間がない
- 2. 学習する場所が近くにない
- 3. 家族や職場など、まわりの理解が得られない
- 4. 自分の興味や関心をひく内容がない
- 5. 曜日や時間帯が合わない
- 6. 学習する適当な施設がない
- 7. 指導者・講師がいない
- 8. 学習に経費がかかる
- 9. 同じ学習をする仲間がいない
- 10. 学習情報・施設がわからない
- 11. 特に学ぶ必要を感じない
- 12. そのほか(具体的にお書きください)

問い8 これからあなたが学んだり、活動したりするときに釜  
石市に更にどのような施設、または施設の充実があれば  
よいと考えますか。最も強く感じているもの一つだけ  
選んでください。(番号に )

- 1. 公民館
- 2. 集会所
- 3. 図書館
- 4. 資料館、博物館
- 5. 文化会館などの総合施設
- 6. 体育館
- 7. 運動場・プール
- 8. 美術館などの文化施設
- 9. 働く婦人の家など
- 10. 農林漁業センター
- 11. 児童館
- 12. 公園
- 13. 民間の加チャ-センターなど
- 14. そのほか(具体的に)

問い9 あなたは、この1年間に市立図書館や移動図書館車  
「しおかぜ号」、公民館の図書コーナーをどれくらい利  
用しましたか。(番号に )

- 1. 15回以上
- 2. 10回くらい
- 3. 5回くらい
- 4. 1回
- 5. 利用していない

問い 10 あなたはこの 1 年間にどれくらい本を読みましたか。(番号に )

- |            |           |
|------------|-----------|
| 1. 15 冊以上  | 4. 1 冊    |
| 2. 10 冊くらい | 5. 読んでいない |
| 3. 5 冊くらい  |           |

市立図書館に関する要望・意見がありましたら具体的にお書きください。

[ ]

問い 11 あなたは現在クラブやサークルに所属していますか。(番号に )

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 所属している | 2. 所属していない |
|-----------|------------|

**(問い 11 で、1. 所属していると答えた人)**

問い 11 - 所属しているクラブやサークルの中で、意欲的に活動をしているもの全てを選んでください。(番号に )

1. 華道、茶道
2. 書道、てん刻
3. 器楽(弦、管、打楽器、バンドなど)
4. 和楽(尺八、三味線、琴、和太鼓など)
5. 長唄、謡曲、詩吟など
6. コーラス(歌う会、合唱)
7. 美術(絵画、彫刻、陶芸など)
8. 映像(カメラ、ビデオなど)
9. 囲碁・将棋
10. 園芸、盆栽、盤景など
11. 手工芸(編み物、ちぎり絵、人形、ドライワケなど)
12. 文芸(短歌、俳句、川柳、詩など)
13. 着付け、和裁、洋裁
14. 料理、調理、食品
15. パソコン
16. 球技(野球、サッカー、テニス、ゲートボールなど)
17. 個人スポーツ(スキー、水泳、ゴルフ、登山など)
18. 格技(柔道、剣道、空手、合気道など)
19. 体育・レクリエーション(体操、ジョギング、ウォーキング、ニュースポーツ、エアロビクスなど)
20. 舞踊(ダンス、バレエ、日本舞踊、郷土芸能など)
21. 外国語
22. そのほか(具体的に)

[ ]

問い 12 あなたがもし新たに生涯学習を行うとしたら、何をしたいですか。具体的にお書きください。

[ ]

問い 13 あなたはこの 1 年間、催し物や公演、練習などで市民文化会館をどれくらい利用しましたか。(番号に )

- |             |            |
|-------------|------------|
| 1. 1 回      | 4. 10 回以上  |
| 2. 2 回~5 回  | 5. 利用していない |
| 3. 6 回~10 回 |            |

市民文化会館に関する要望・意見がありましたら具体的にお書きください。

[ ]

問い 14 釜石市での「文化的催し」として、どのような内容のものを希望しますか。強く希望しているものを一つだけ選んでください。(番号に )

- |                       |                |
|-----------------------|----------------|
| 1. コンサート              |                |
| 2. 演奏会(ソロ、バンド、オーケストラ) |                |
| 3. 歌謡、民謡ショー           | 11. 映画上映       |
| 4. バレエ、ダンス            | 12. 文化講演会      |
| 5. 日本舞踊               | 13. 特になし       |
| 6. 能、狂言、歌舞伎           | 14. そのほか(具体的に) |
| 7. 民俗芸能               |                |
| 8. 落語、漫才、手品           |                |
| 9. ミュージカル             |                |
| 10. 演劇、児童劇            |                |

[ ]

問い 15 あなたはこの 1 年間、スポーツやレクリエーションなどで体育施設(体育館、プール、球技場など)をどれくらい利用しましたか。(番号に )

- |            |            |
|------------|------------|
| 1. 1 回     | 4. 10 回以上  |
| 2. 2 回~5 回 | 5. 利用していない |
| 3. 6 回~10  |            |

問い 16 当市では、スポーツ振興によるまちづくりを目指していますが、そのため今後必要と思われるものを一つだけ選んでください。(番号に )

1. ラグビー(シーウェイブス)を核としたスポーツ振興策
2. 市民の健康づくり(体力づくり)を重視した取り組み
3. 児童・生徒の競技スポーツの強化
4. 体育施設の整備・充実
5. 全国規模の大会、合宿の誘致
6. そのほか(具体的にお書きください)

[ ]

問い 17 あなたはボランティア活動（社会貢献活動）についてどのような考え、または状況となっていますか一つだけ選んでください。（番号に ）

1. 何らかの形（募金など）で参加するようにしている。
2. 実際にボランティア活動をしている団体に所属している。
3. 参加したいが時間がない
4. 参加したいが参加する方法がわからない
5. 参加したいと思わない。
6. そのほか（具体的にお書きください）

[ ]

問い 18 あなたがもしボランティア活動をするとしたら、どのような活動を選びますか。一つだけ選んでください。（番号に ）

1. 福祉活動
2. 育児ボランティア
3. 環境保護活動
4. 地域活動
5. スポーツ活動（大会の補助など）
6. 観光ボランティア
7. 国際交流
8. そのほか（具体的にお書きください）

[ ]

問い 19 「地域」についておたずねします。あなたの住んでいる地域では、地域活動（町内会行事など）が盛んですか。（番号に ）

1. 盛んである
2. 普通
3. あまり盛んではない
4. わからない

問い 20 これからの住みよい地域づくり、自立した地域づくりのためには住民参加が必要だと思いますが、あなたは、地域づくりに関心がありますか。（番号に ）

1. 日ごろから実践している
2. 大いに関心がある
3. 関心がある
4. あまり関心がない
5. 全く関心がない
6. そのほか（具体的にお書きください）

[ ]

問い 21 あなたの住む地域の課題の中で、何が解決されることを期待しますか。次の中から該当するもの全て選んでください。（番号に ）

1. 子育て、教育環境の改善
2. 郷土の歴史や文化の保存継承
3. 地域防災、防犯
4. 健康・福祉関連（独居老人、介護、障がい者福祉など）
5. 都市基盤（道路・下水道、通信など）の整備
6. 地域の連帯感の醸成
7. そのほか（具体的にお書きください）

[ ]

問い 22 あなたは郷土釜石のことについて、どの程度知っていますか。（番号に ）

1. 歴史・文化・地理などある程度知っている
2. 限定的には知識があるほうだ〔例：歴史 〕
3. 一般的な知識は持っている
4. あまり自信がない
5. ほとんど知らない

あなたが考える釜石市が他にほこれるもの、逆にほこれないものを記入してください（具体的にお書きください）

[ ]

**最後に、今後の生涯学習推進のため、或いは市政全般に関するあなたのご意見やご希望を自由にお聞かせください。**

[ ]

**ご協力ありがとうございました。**

**返信用封筒にこの調査書を入れ、切手をはらずに10月7日までに投函願います。**

**なお、このアンケートに関するご不明な点等ありましたら、下記担当までご連絡ください。**

**釜石市教育委員会事務局  
生涯学習スポーツ課生涯学習係  
電話 22-8835 FAX24 - 3185**

## 釜石市民への生涯学習に関する調査結果

### アンケートの概要

- 1 調査目的 釜石市の生涯学習について、市民の活動実態・意識を把握し、釜石市生涯学習推進計画策定の基礎資料とする。
- 2 調査対象 釜石市に在住する20歳以上80歳未満の男女1,800人（対象人口比率5.4%）  
（平成17年8月末日現在の対象人口33,380人を地域別、男女別、年齢別比率に対応させて配布者数を確定し、電算機で無作為抽出を行う）

地区	年代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計	男女 合計	地区別	
										人口構成 比%	標本構成 比%
本 庁	男	26	34	38	49	48	40	235	498	27.6	27.7
	女	24	33	38	50	60	58	263			
中 妻	男	12	17	17	21	18	17	102	216	12.0	12.0
	女	12	18	15	21	22	26	114			
小佐野	男	18	23	25	38	37	32	173	368	20.5	20.4
	女	17	25	25	39	44	45	195			
甲 子	男	13	17	14	22	19	15	100	209	11.7	11.6
	女	14	16	15	23	21	20	109			
大 橋	男	3	3	3	7	6	5	27	56	3.0	3.1
	女	2	3	3	6	7	8	29			
鵜住居	男	17	22	22	32	29	23	145	298	16.6	16.6
	女	18	21	22	32	33	27	153			
栗 橋	男	3	3	4	6	6	7	29	58	3.2	3.2
	女	3	2	4	5	7	8	29			
唐 丹	男	5	6	7	11	10	10	49	97	5.4	5.4
	女	4	5	7	10	12	10	48			
男 性		97	125	130	186	173	149	860	1,800人	100%	100%
女 性		94	123	129	186	206	202	940			
合 計 : 人		191	248	259	372	379	351				
年 代	人口構成比%	10.5	13.8	14.5	20.6	21.1	19.5	100%			
	標本構成比%	10.6	13.8	14.4	20.7	21.0	19.5	100%			

- 3 調査時期 平成17年9月～10月
- 4 調査方法 別紙調査書を郵便で送付し、料金後納の返信用封筒で返送
- 5 回答者数 651人（36.2%）

**問い1 性別、年齢、住んでいる地区、職業等**  
**性別**

性別	回答数(人)	回答割合(%)	送付実績(%)
男性	268	41.2	47.8
女性	349	53.6	52.2
無回答	34	5.2	
計	651	100.0	100.0

**年齢**

性別	回答数(人)	回答割合(%)	送付実績(%)
20代	54	8.3	10.6
30代	89	13.7	13.8
40代	101	15.5	14.4
50代	132	20.3	20.7
60代	159	24.4	21.0
70代	110	16.9	19.5
無回答	6	0.9	
計	651	100.0	100.0

**住んでいる地区**

地区	回収数(人)	回収割合(%)	送付実績(%)
本庁	189	29.0	27.7
中妻	76	11.7	12.0
小佐野	112	17.2	20.4
甲子	108	16.6	11.6
大橋	14	2.2	3.1
鵜住居	100	15.4	16.6
橋野	10	1.5	3.2
唐丹	42	6.4	5.4
計	651	100.0	100.0

**職業等**

職種	回答数(人)	回答割合(%)
1.農林業	5	0.8
2.漁業	20	3.1
3.会社員	138	21.2
4.公務員	38	5.8
5.自営業	51	7.8
6.サービス	52	8.0
7.主婦	145	22.3
8.無職	143	21.9
9.その他	50	7.7
10.無回答	9	1.4
計	651	100.0

**職業等のその他(50人)の内訳**

職種	人数(人)
アルバイト・パート	14
団体職員	6
看護師	3
非常勤職員	3
会社役員	2
学生	2
茶道教授等	2
議員	1
教育	1
行政連絡員	1
簡易郵便局	1
僧侶	1
児童福祉業	1
宿直員	1
シルバー人材	1
自由業	1
運転手	1
福祉職員	1
無回答	5
不明	2
計	50

## 問い12 あなたは釜石市に住んで何年になりますか。

年数	回答数(人)	回答割合(%)	男性(人)	女性(人)	性別無回答(人)
5年未満	35	5.4(5.0)	16	18	1
5年以上10年未満	28	4.3(3.1)	13	14	1
10年以上15年未満	19	2.9(2.0)	10	8	1
15年以上20年未満	23	3.5(4.1)	7	15	1
20年以上	214	32.9(37.2)	90	115	9
生まれてから現在まで	329	50.5(47.3)	131	178	20
無回答	3	0.5(1.3)	1	1	1
計	651	100.0(100.0)	268	349	34

回収割合の( )内は平成12年度調査結果

釜石市に住んで5年未満から15年未満の居住者からの回答が0.4～0.9ポイント増加している。

20年以上及び生まれてから現在までの居住者からの合計回答割合は83.4%と前回までの調査と比べ(平成12年85%、平成6年92%、平成元年88%)に減少している。

## 問い13 あなたはこれからもずっと釜石市に住みたいと思いますか。

項目	回答数(人)	回答割合(%)	男性(人)	女性(人)	性別無回答(人)
住みたいと思う	439	67.4(71.9)	174	238	27
住みたいが、仕事 上転居がらうる	27	4.2(5.2)	16	11	0
住みたいと思わない	84	12.9(10.5)	40	43	1
わからない	90	13.8(10.7)	34	52	4
無回答	11	1.7(1.7)	4	5	2
計	651	100.0(100.0)	268	349	34

回収割合の( )内は平成12年度調査結果

### 「住みたいと思わない」の理由(複数回答)

物価が高い	24
交通の便が悪い	16
医療体制が不安	16
物価が高い	14
魅力ある施設(娯楽・レジャー)が無い	13
希望・将来性が無い	12
仕事が無い	11
医療体制が不安	9
商業施設が無い	9
つまらない	7
給料が安い	3
閉鎖的な土地柄である	3
文化施設・活動が無い	3
町が暗い(寂れている)	2
土地が高い	2
生活し難い	2
土地が高い	2
発展しているまちに住みたい	2
色々なところに住みたい	2
市のサービスが悪い	1
店員の態度が悪い	1
子どもが市外に居る	1
自分勝手な人が多い	1
都会生活とのギャップに慣れない	1
別に住所がある	1
人間関係が悪い	1
情報が少ない	1

### 「住みたいと思わない」の詳細分析

20代(14人)	17%
30代(17人)	20%
40代(20人)	24%
50代(15人)	18%
60代(14人)	17%
70代(4人)	4%

男(40人)	48%
女(43人)	52%

住んで5年未満	37.1%
5年以上10年未満	39.3%
10年以上15年未満	21.1%
15年以上20年未満	21.7%
20年以上	11.7%
生まれてから現在まで	7.9%

項目ごとの回答者に占める割合、5年未満であれば、35人中13人が住みたくなないと回答したことによる比率

「住みたい」「住みたいが転居もあろうる」が合わせて71.6%(平成12年77%、平成6年83%、平成元年85%)と大幅に減少しており、一方「住みたいと思わない」が、12.9%と2.4ポイント増加している。(平成12年10.5%、平成6年6%、平成元年5%)

「住みたいと思わない」理由として、「物価高」「交通・買い物不便」「雇用の場が無い」「活気・発展性がない」などは、過去においても挙げられていたが、あらたに「医療不安」「閉鎖的な土地柄」を理由に、住みたくなという市民が出てきている。

「住みたいと思わない」と答えた市民を年代別、男女別、居住年数別に見てみると、先ず年代別では、20代から50代の「働き盛り」世代で全体の72%を占めている。男女別では人口比とほぼ同じ割合であった。居住年数別に見ると、今回の調査では、全体に占める15年未満の居住者の回答割合が増加していると述べたが、居住20年未満の市民の「釜石に住みたくな」割合が、いずれも20%を超えていることが特徴的である。

**問い4 あなたは、毎日の生活の中で「生きがい」を感じているのはどんなときですか。**

項目	回答数(人)	回答割合(%)	男性(人)	女性(人)	性別無回答(人)
仕事	115	17.7(18.5)	58	53	4
家族とのだんらん	221	34.0(32.5)	79	127	15
趣味・スポーツ・旅行等	244	37.4(37.7)	112	122	10
社会活動ボランティア	20	3.1(2.5)	4	14	2
その他	21	3.2(3.9)	6	15	
無回答	30	4.6(4.6)	9	18	3
計	651	100.0(100.0)	268	349	34

回答割合の()内は平成12年度調査結果

**その他の内容**

意識していない	4
子育てしているとき	3
生きたいという思いがあるとき	2
介護しているとき	2
信念をもっているとき	2
歩いているとき	2
好きなことをしているとき	1
学んでいるとき	1
無い	1

「趣味・スポーツ・旅行37%」、「家族だんらん34%」、「仕事18%」の順で、順位と割合が前回とほぼ同じ結果となっている。(平成12年「趣味・スポーツ・旅行38%」、「家族だんらん33%」、「仕事19%」)

**問い5 あなたは生涯学習という言葉聞いたことが聞いたことがありますか。**

項目	回答数(人)	回答割合(%)	男性(人)	女性(人)	性別無回答(人)
聞いたことがある	588	90.3(83.0)	248	310	30
聞いたことがない	60	9.2(14.7)	19	37	4
無回答	3	0.5(2.3)	1	2	
計	651	100.0(100.0)	268	349	34

回答割合の()内は平成12年度調査結果

「生涯学習」ということばを聞いたことがある市民は90%と、前回(平成12年83%)より大幅に増加しており、「生涯学習」への関心、認知度は確実に高まっていることがわかる。

**問い6 生涯学習とは生涯にわたり自分から進んで学習活動を持続することと言われておりますが、あなたはこのことについてどう思いますか。**

項目	回答数(人)	回答割合(%)	男性(人)	女性(人)	性別無回答(人)
大切である	425	65.3(64.6)	177	230	18
どちらかといえば大切	155	23.8(24.2)	64	79	12
どちらとも言えない	56	8.6(9.0)	21	32	3
あまり大切と思わない	9	1.4(1.2)	3	5	1
大切と思わない	2	0.3(0.1)	2		
無回答	4	0.6(0.9)	1	3	
計	651	100.0(100.0)	268	349	34

回答割合の()内は平成12年度調査結果

生涯学習の必要性については、前回(平成12年)と同じ89%が「大切」または「どちらかといえば大切」と答え、多くの市民が生涯学習は必要だと考えていることがわかる。

**問い17 あなたは、この1年間、何回ぐらい「学び」をしましたか。**

項目	回答数(人)	回答割合(%)	男性(人)	女性(人)	性別無回答(人)
学びを行った	313	48.1(45.2)	129	170	14
特に行わなかった	323	49.6(48.1)	133	174	16
無回答	15	2.3(6.7)	6	5	4
計	651	100.0(100.0)	268	349	34

回答割合の()内は平成12年度調査結果

**問い17- この1年間何回ぐらい「学び」を行いましたか。(問い17で「学びを行った」と答えた人のうち)**

項目	回答数(人)	回答割合(%)	男性(人)	女性(人)	性別無回答(人)
1回	33	10.5(6.0)	15	17	1
2回～5回	96	30.7(29.4)	51	41	4
6回～8回	32	10.2(14.6)	9	21	2
9回～15回	31	9.9(10.6)	9	20	2
16回以上	108	34.5(39.4)	42	61	5
無回答	13	4.2(0.0)	3	10	0
計	313	100.0(100.0)	129	170	14

回答割合の()内は平成12年度調査結果

「1回以上学びを行った」人が前回(平成12年)と比べ、45%から48%へ3ポイント増加したが、7- で「学び」の回数を見ると、「1回」「2～5回」と答えた人が増加したものの、定期的に「学び」を行っている人は逆に減少傾向にある。

**問い17 - 「学び」をしたきっかけは、次のどれが最も大きい要因ですか。**

項目	回答数(人)	回答割合(%)	男性(人)	女性(人)	性別無回答(人)
テレビ・ラジオで	11	3.5(10.5)	4	6	1
新聞を見て	9	2.9(4.2)	5	4	0
県・市の広報などで	38	12.1(6.1)	10	24	4
公民館等のチラシで	18	5.7(5.0)	2	15	1
地区や会社からの情報	35	11.2(6.9)	24	11	0
自分から進んで	136	43.5(43.3)	56	74	6
友人・知人のすすめで	42	13.4(16.9)	16	25	1
その他	16	5.1(7.1)	11	4	1
無回答	8	2.6(0.0)	1	7	0
計	313	100.0(100.0)	129	170	14

回答割合の()内は平成12年度調査結果

「自分から進んで」という意見が今回も44%と最も多く、「友人のすすめ」「広報」「地区や会社からの情報」の順となっている。この中では、「広報を見て」「地区・会社からの情報」がほぼ倍増していることが特徴的で、相対的に、「テレビ・ラジオ」「新聞」が減少している。これを見ても様々な情報やきっかけから自分なりの「学び」をしていることが伺える。

**問い17 - どんな「学び」をしましたか。(複数回答あり)**

項目	回答数(人)	回答割合(%)	男性(人)	女性(人)	性別無回答(人)
趣味的なもの	103	20.3(27.4)	33	64	6
教養的なもの	54	10.6(9.0)	24	29	1
社会問題	27	5.3(4.3)	20	7	0
健康管理	117	23.1(26.1)	41	71	5
家庭生活	45	8.9(10.6)	4	38	3
育児・教育	29	5.7(2.4)	7	21	1
職業上必要な知識	103	20.3(17.5)	59	41	3
その他	17	3.4(2.7)	7	9	1
無回答	12	2.4(0.0)	2	10	0
計	507	100.0(100.0)	197	290	20

回答割合の()内は平成12年度調査結果

「学び」の内容については、前回の調査(平成12年)と比べ大きく順位が入れ替わっている。これまで上位にあった「趣味的なもの」「健康管理」が相対的に比率を下げ、「職業上必要な知識」「教養的なもの」「社会問題」「育児・教育」等が比率を上げている。このことから、高等教育機関がない本市において、高度な知識を習得したいという意識の高まりと、地域経済の低迷を反映してか、自らの付加価値を高める学びや、マスコミ等での青少年の問題行動報道・少子化に起因すると考えられる子育て・教育への関心を示す傾向が伺える。

**問17 - 学習した場所はどこですか、最も利用回数の多いところを選んでください。**

項目	回答数(人)	回答割合(%)	男性(人)	女性(人)	性別無回答(人)
公民館・分館	34	10.9 [9.2]	8	24	2
集会所	25	8.0 [9.5]	10	14	1
市民文化会館	18	5.7 [6.5]	6	11	1
市立図書館	8	2.6 [1.1]	6	2	0
働く婦人の家	16	5.1 [4.1]	2	13	1
市民交流センター・プール	12	3.8 [4.3]	4	7	1
勤務場所	25	8.0 [5.1]	18	7	0
農協・漁協施設	2	0.6 [1.4]	1	1	0
学校	18	5.7 [3.8]	11	7	0
農林漁業センター等	8	2.6 [2.4]	3	4	1
自宅	75	24.0 [34.0]	35	36	4
その他	60	19.2 [18.6]	23	34	3
無回答	12	3.8 [0.0]	2	10	0
計	313	100.0 [100.0]	129	170	14

回答割合の[]内は平成12年度調査結果

「学んだ場所」については、自宅が24%と最も多い割合となっているが、比率が大幅に減少し、逆に「公民館」「図書館」「働く婦人の家」といった公の施設や、「勤務場所」が高い割合を示している。また市民文化会館は引き続き減少傾向にある(平成12年7%、平成6年12%、平成元年18%)。このことから、「学びの場」の多様化と、公民館をはじめとした公の施設が市民に浸透してきていることがわかる。

**その他の内訳**

スポーツ施設	10
個人宅	8
研修会場	7
市外	6
海	3
県の施設	3
農地	2
職業訓練協会	2
小佐野コミュニティ	2
びばば	2
NPO、移動中の車内、介護施設、学会等、教育センター、銀行、産業育成センター、自動車学校、市内各所、病院 各1	

**問17 - 「学び」をしなかった理由のうち、最もあなたの状況に近いもの「問17で「特にしなかった」と答えた人を対象」**

項目	回答数(人)	回答割合(%)	男性(人)	女性(人)	性別無回答(人)
仕事・家事・育児が忙しい	109	34.1 [35.2]	37	70	2
学習する場が近くにない	17	5.3 [2.2]	6	9	2
家族や職場の理解がない	4	1.2 [1.4]	0	4	0
関心や興味がひかれない	45	14.1 [9.9]	27	17	1
曜日や時間帯が合わない	28	8.7 [8.9]	12	15	1
適当な施設がない	8	2.5 [1.6]	4	4	0
指導者・講師がない	2	0.6 [0.3]	0	2	0
学習に経費がかかる	16	5.0 [2.7]	4	10	2
同好の仲間がない	7	2.2 [4.8]	4	3	0
機会情報がわからない	13	4.1 [12.1]	7	5	1
特に学ぶ必要を感じない	43	13.4 [14.2]	24	13	6
その他	12	3.8 [6.7]	3	9	0
無回答	16	5.0 [0.0]	4	11	1
計	320	100.0 [100.0]	132	172	16

回答割合の[]内は平成12年度調査結果

「学び」を特にしなかった理由については、「仕事・家事が忙しい」が今回も最も多い。次いで「関心や興味がひかれない」14%、「学ぶ必要を感じない」13%が共に10%を超えているほか、「曜日や時間帯が合わない」という意見も高い比率を示している。今回の調査で特徴的だったのが、「学習機会情報がわからない」という意見が、前回の12%から、4.1%と大幅に減少している。よく市民からイベント等の情報がわからないという意見が出され、課題として常にPRの充実ということが言われていたが、この結果を見ると、市民は情報の有無ではなく、内容を見て判断していることがわかる。

**問18 釜石市にさらにどのような施設があればよいと思いますか。**

項目	回答数(人)	回答割合(%)	男性(人)	女性(人)	性別無回答(人)
公民館	31	4.8 [4.5]	13	17	1
集会所	37	5.7 [5.8]	13	19	5
図書館	32	4.9 [4.3]	20	12	0
資料館、博物館	28	4.3 [6.7]	19	8	1
文化会館などの総合施設	79	12.1 [9.1]	29	47	3
体育館	40	6.2 [5.0]	15	25	0
運動場、プール	55	8.5 [9.8]	25	27	3
美術館などの文化施設	67	10.3 [9.3]	29	36	2
働く婦人の家	18	2.8 [4.9]	2	15	1
農林漁業センター	10	1.5 [8.9]	4	6	0
児童館	8	1.2 [1.4]	2	5	1
公園	25	3.8 [6.1]	11	14	0
民間のカルチャーセンター	84	12.9 [0.0]	30	52	2
その他	32	4.9 [8.5]	18	13	1
無回答	105	16.1 [15.7]	38	53	14
計	651	0.0	268	349	34

回答割合の[]内は平成12年度調査結果

どのような施設があればよいと思うかについては、今回新規で項目に挙げた「民間のカルチャーセンター」がトップになったほか、「文化会館などの総合施設」12%、「美術館などの文化施設」10%が前回より高い割合を示したのに対し、「農林漁業センター」「公園」「働く婦人の家」「運動場・プール」などが減少している。これは既存の程度施設整備が行われ、利用が定着していることに起因していると思われる。ただし、そのような施設であっても根強く施設整備に期待している市民もあり、このことから市民ニーズが多岐にわたっていることがわかる。

**その他の内訳**

健康推進施設	9
ハードより内容	2
文化+スポーツ	2
武道場	2
夜間開放すべ	2
海の釣堀、映画館、営農、大型スーパー、科学技術館、研修室・調理場、サイクリングロード、専門の相談員の配置、自然環境を学ぶところ、障害者自活施設、青少年の家、総合施設、体育館+集会所、滞在型観光スポット、幼児・低学年の居場所、無回答 各1	

**問い10 この1年間に市立図書館や分館、移動図書館車「しおかぜ号」、公民館の図書コーナーをどれくらい利用しましたか。**

項目	回答数(人)	回答割合(%)	男性(人)	女性(人)	性別無回答(人)
15回以上	23	3.5(2.2)	10	12	1
10回くらい	15	2.3(2.2)	5	8	2
5回くらい	42	6.5(5.5)	17	23	2
1回	30	4.6(3.1)	13	15	2
利用していない	504	77.4(79.1)	206	275	23
無回答	37	5.7(6.3)	17	16	4
計	651	100.0(100.0)	268	349	34

回答割合の( )内は平成12年度調査結果

「図書館等を利用していない」と答えた方は77%で、過去と比べて(平成12年79%、平成6年80%、平成元年86%)年々減少し、利用者の中でも1回と15回以上の利用者の伸び率が高くなり、読書に親しむ人が増えてきている。しかし、不読者が77%もいることから、今後、平成17年9月に策定した「釜石市子どもの読書活動推進計画」と合わせて推進していく必要がある。

**図書館への意見**

蔵書数が少ない	7	見たい本が見つからない。本が汚れている。図書館数が少ない。移動図書館の継続。色々なジャンルの本の収集。喫煙できる場所の設置。海外の良書が少ない。システムの導入で利用しやすくなった。新刊の貸し出しを一週間に限定すべき。釜石市出身者の夜の閉館
市街地(中心部)に	5	本の収集。図書館友の会をつくる。休憩コーナーの設置。郷土史に関する本を多く。郷土資料の貸し出し。カラークラウド機の設置。映画会の継続。週刊誌の配架。必要な本は自分で買うので関係ない。良い。皆親切です。インターネットで検索できるように。CD・DVDの貸し出し。ビジネス書が少ない。釜石公民館の貸し出しが不便。分類を判りやすく。マンガ本の配架。定期的にアンケートを実施する。清掃は開館前後にして。
新刊の充実	4	
軽食の飲食を認めて	3	
夜間の閉館	3	
冷暖房を少し強く	3	
移動図書館に読みたい本がない	2	
うるさい人を注意して	2	
休館日を少なく	2	
PRに力を入れて	2	
専門書・学術書が少ない	2	
駐車スペースが狭い	2	
室内を明るく	2	
交通の便が悪い	2	

**問い11 あなたは現在クラブやサークルに所属していますか。**

項目	回答数(人)	回答割合(%)	男性(人)	女性(人)	性別無回答(人)
所属している	172	26.4(27.0)	75	92	5
所属していない	444	68.2(66.7)	176	245	23
無回答	35	5.4(6.3)	17	12	6
計	651	100.0(100.0)	268	349	34

回答割合の( )内は平成12年度調査結果

グループ学習への参加状況については、「所属している」が26%(平成12年27%、平成6年26%、平成元年23%)で、4人に1人は何らかのグループに所属していることがわかる。男女別では男性が28%、女性が26%とこれまでは逆転し男性の所属割合が上回る結果となっている。

**問い11 - 所属しているクラブやサークルで意欲的に活動しているものは(複数回答あり)**

項目	回答数(人)	回答割合(%)	男性(人)	女性(人)	性別無回答(人)
華道・茶道	12	4.7(7.6)	0	11	1
書道・てん刻	9	3.5(6.2)	2	7	0
器楽	4	1.5(1.3)	2	2	0
和楽	5	1.9(1.0)	1	4	0
長唄・詩吟等	4	1.5(2.0)	0	4	0
コーラス	14	5.4(4.3)	5	9	0
美術	4	1.5(3.3)	1	3	0
映像	6	2.3(3.0)	6	0	0
囲碁・将棋	6	2.3(4.3)	5	1	0
園芸・盆栽等	6	2.3(1.3)	5	1	0
手工芸	9	3.5(4.3)	0	9	0
文芸	10	3.9(1.3)	7	3	0
着付け・和洋裁	5	1.9(2.0)	0	4	1
料理等	10	3.9(4.3)	1	8	1
パソコン	7	2.7(2.3)	2	5	0
球技	48	18.6(19.7)	29	17	2
個人スポーツ	27	10.4(6.9)	19	7	1
格技	4	1.5(1.3)	4	0	0
体育・レク	31	12.0(4.9)	9	20	2
舞踊	16	6.2(7.9)	3	12	1
外国語	2	0.8(0.6)	0	2	0
その他	14	5.4(10.2)	5	9	0
無回答	6	2.3(0.0)	1	5	0
計	259	100.0(100.0)	107	143	9

**所属クラブ・サークル数**

1つに所属	112人
2つに所属	33人
3つに所属	16人
4つに所属	3人
5つに所属	1人
9つに所属	1人
無回答	6人
計	172人

**その他の内訳**

押し花	2人
ボランティア	2人
太極拳	2人
釣り	2人
吟舞	1人
点字	1人
魚の放流	1人
人形劇	1人
バイク	1人
老人クラブ	1人
計	14人

**問112 あなたがもし新たな生涯学習を行うとしたら、何をしたいですか。**

項目	回答数(人)	回答割合(%)	男性(人)	女性(人)	性別無回答(人)
回答あり	295	45.3	118	169	8
無回答	356	54.7	150	180	26
計	651	100.0	268	349	34

**回答ありの内訳(複数回答あり)**

項目	人数(人)	項目	人数(人)	項目	人数(人)	項目	人数(人)	項目	人数(人)
パソコン等	41	郷土史	3	和楽器	2	文学	1	墨絵	1
運動スポーツ	24	ピアノ	3	フラワーアレンジメント	2	文化財発掘	1	スノーボード	1
外国語関係	20	舞踊	3	応急手当	1	保育士	1	宅老所	1
美術・絵画	18	山歩き登山	3	合気道	1	ティラピス	1	話し方	1
料理	15	アウトドア学習	3	医学	1	和裁	1	大学の勉強	1
手工芸	14	ダンス	3	育児	1	リフォーム	1	卓球	1
書道	13	音楽	3	海外旅行	1	ワープロ	1	バドミントン	1
園芸	12	福祉	3	格技	1	フラメンコ	1	てん刻	1
陶芸	8	個人スポーツ	3	木彫	1	ソフトバレー	1	テニス	1
健康学習	7	リフレクソロジー	3	木工	1	食育	1	天文学	1
資格取得	7	アウトドア学習	3	教育	1	心理学	1	鉄道	1
趣味全般	7	ダンス	3	囲碁	1	乗馬	1	面白い話	1
歴史	7	音楽	3	洋服リフォーム	1	健康料理	1	バレーボール	1
楽器	5	福祉	3	人形	1	健康指導	1	養殖	1
水泳	5	個人スポーツ	3	ハーブ料理	1	太極拳	1	必要な事柄	1
華道	5	福祉資格取得	2	整体	1	経済学	1		
ウォーキング	4	マリンスポーツ	2	古文書	1	経営	1		
コーラス	4	釣り	2	盆栽	1	会計	1		
着付け	4	スポーツ指導	2	石について	1	教養的なもの	1		
茶道	4	詩吟	2	農業	1	郷土芸能	1		
ヨガ	4	業務知識習得	2	手話	1	博士号	1		
編物	4	ボランティア	2	バレエ	1	シェイプアップ	1		
介護	4	エアロビクス	2	フラダンス	1	写経	1		
ニュースポーツ	4	福祉資格取得	2	看護師資格	1	社会問題	1		
映像	3	マリンスポーツ	2	ゴルフ	1	水球	1		
小計	216	小計	49	小計	25	小計	24	小計	14

**問113 この1年間に市民文化会館をどれくらい利用しましたか。**

項目	回答数(人)	回答割合(%)	男性(人)	女性(人)	性別無回答(人)
1回	68	10.5 [9.9]	25	40	3
2回～5回	207	31.8 [30.9]	78	117	12
6回～10回	30	4.6 [6.9]	5	23	2
10回以上	19	2.9 [4.1]	4	14	1
利用しない	282	43.3 [40.8]	135	135	12
無回答	45	6.9 [7.4]	21	20	4
計	651	100.0 [100.0]	268	349	34

回答割合の[]内は平成12年度調査結果

市民文化会館を利用した人の割合50%と調査結果では年々下回っている。(平成12年52%、平成6年59%、平成元年64%)  
しかし、実際の入場者数を見ると入場者数は増加傾向にある。

**市民文化会館への意見**

狭く利用できない駐車場は全てにおいてマイナス	12	500人位のホールが欲しい。喫煙場所を増やして、公民館に比べ教室等に利用しづらい。夜に生涯学習を行って欲しい。コンサートをもっと多くして欲しい。催事だけでなく常設展示も充実して欲しい。車椅子が気軽に利用できるように。展示室の予約が難しいので、もう一つ同様のスペースがあっても良い。のど自慢の誘致。市民の要望が多い催事を開催する。人が集まりやすい場所に移転。民俗芸能の公演。色を何とかして欲しい。映画の上映はとてみにくい。周囲の花の手入れをきちんと。催事のあるときは附属の駐車場を開放して、職員は駐車料金を払っているのか、もっと開放的に。安く映画がみたい。利用の際の規制の緩和。各1
流行の映画の上映を増やして	5	
館内のリニューアル	5	
催事のPR不足を解決して(予定表をスーパー等に)	4	
飲食できる場所を設置して欲しい	3	
交通機関にあわせた催事となっていない	3	
有名な歌手等呼んで欲しい	3	
飲物の自販機を設置	2	
ミュージカルを開催して欲しい	2	
明るい雰囲気にして欲しい	2	
使用料を安くして欲しい	2	
市営駐車場の割引を考えて欲しい	2	
講演会・発表会等を増やす	2	
会館職員のサービスの向上	2	

**問い114 「文化的催し」として、どのようなものを希望しますか。**

項目	回答数(人)	回答割合(%)	男性(人)	女性(人)	性別無回答(人)
コンサート	132	20.3 [13.0]	47	82	3
演奏会	41	6.3 [4.3]	17	21	3
歌謡・民謡ショー	46	7.1 [9.0]	19	23	4
バレエ・ダンス	6	0.9 [0.5]	1	5	0
日本舞踊	6	0.9 [0.5]	1	5	0
能・狂言・歌舞伎	23	3.5 [4.1]	5	17	1
民俗芸能	19	2.9 [3.5]	9	8	2
落語・漫才・手品	41	6.3 [4.3]	26	12	3
ミュージカル	12	1.8 [3.4]	4	8	0
演劇・児童劇	11	1.7 [2.1]	4	7	0
映画上映	127	19.5 [16.1]	47	74	6
文化講演会	55	8.5 [13.7]	31	20	4
特になし	72	11.1 [12.2]	30	37	5
その他	6	0.9 [1.6]	2	4	0
無回答	54	8.3 [9.8]	25	26	3
計	651	100.0 [100.0]	268	349	34

回答割合の[]内は平成12年度調査結果

希望する文化的催しは、「コンサート」20%、「映画上映」20%、「文化講演会」9%、「歌謡ショー」7%と、上位の項目は前回の結果と変わらないが、「コンサート」が前回より大幅に希望する割合を伸ばし、「映画上映」も微増となっている。その結果、相対的に「文化講演会」「歌謡ショー等」は、比率を下げる結果となっている。

一方、特になし、無回答をあわせると、5人に1人が無関心であることがわかる。

**問い114 その他の内訳**

市民バザー
巡回展示
郷土史に関するもの
美術展
経済講演会
無回答

**問い115 あなたはこの1年間、スポーツやレクリエーションなどで体育施設(体育館、プール、球技場など)をどれくらい利用しましたか。(新規設問)**

項目	回答数(人)	回答割合(%)	男性(人)	女性(人)	性別無回答(人)
1回	29	4.4	11	17	1
2回～5回	98	15.1	43	49	6
6回～10回	16	2.5	9	7	0
10回以上	60	9.2	30	28	2
利用しない	408	62.7	160	228	20
無回答	40	6.1	15	20	5
計	651	100.0	268	349	34

今回初めての調査となるが、市民の2/3は1年間に一度も体育施設を利用していないことがわかる。その中でも、女性の利用していない割合が相対的に高いことが特徴的である。

**問い116 スポーツ振興によるまちづくりを目指していますが、そのため必要と思われるものは何か。(新規設問)**

項目	回答数(人)	回答割合(%)	男性(人)	女性(人)	性別無回答(人)
ラグビー(シーエイブス)を核とした振興策	69	10.6	26	41	2
市民の健康づくり(体力づくり)を重視	226	34.7	77	137	12
児童・生徒の競技スポーツの強化	72	11.1	34	34	4
体育施設の整備・充実	156	24.0	81	68	7
全国規模の大会、合宿の誘致	51	7.8	22	27	2
その他	19	2.9	10	9	0
無回答	58	8.9	18	33	7
計	651	100.0	268	349	34

今回は初めての調査となるが、最も必要と思われる内容は「健康づくり(体力づくり)」の35%で、特に女性が男性の倍の関心があることがわかる。

次いで、「体育施設の整備充実」24%、「児童生徒の競技スポーツの強化」11%、「シーエイブスを核としたスポーツ振興」11%となっているが、この中で、シーエイブスに対する関心が5つの項目中4位と、成績不振の影響もあってか市民の関心が高くない状況にある。

**問い116 その他の内訳**

金がかかるので必要なし	プール・シャワー・喫茶完備の健康センター
遊歩道やサイクリングロード整備	人口を増やすことが先決
スポーツをさせる環境づくりがなっていない	ビーチバレー
住んでいる地域に地域型スポーツ施設を	大人も参加できるスポーツクラブ
ウォーキングできる公演	球技の大会
スポーツ施設は平坦地は芝に、学校の校庭	グラウンドゴルフ
スポーツジム	サークルづくりと紹介
どうしてスポーツなのかわからない	指導者の育成と充実
何事も中途半端で話にならない	

**問い17 あなたはボランティア活動(社会貢献活動)について、どのような考え又は状況にありますか。(新規設問)**

項目	回答数(人)	回答割合(%)	男性(人)	女性(人)	性別無回答(人)
何らかの形で参加するようにしている	251	38.6	95	144	12
実際にボランティア活動をしている団体に所属	63	9.7	26	34	3
参加したいが時間が無い	137	21.1	55	72	10
参加したいが参加する方法がわからない	68	10.4	36	28	4
参加したいと思わない	79	12.1	35	41	3
その他	12	1.8	5	7	0
無回答	41	6.3	16	23	2
計	651	100.0	268	349	34

実際に活動を行っているのが、48%と高い数値であることがわかった。また、「参加したいと思わない」と回答した数は12%で、潜在的な数を含め5人中4人はボランティアの必要性、意義のあることと認識している。

**問い18 あなたがもしボランティアをするとしたら、どのような活動を選びますか。(新規設問)**

項目	回答数(人)	回答割合(%)	男性(人)	女性(人)	性別無回答(人)
福祉活動	155	23.8	42	103	10
育児ボランティア	47	7.2	0	47	0
環境保護活動	111	17.1	65	42	4
地域活動	165	25.3	83	68	14
スポーツ活動(大会補助等)	53	8.1	34	17	2
観光ボランティア	14	2.2	9	4	1
国際交流	15	2.3	6	9	0
その他	14	2.2	4	10	0
無回答	77	11.8	25	49	3
計	651	100.0	268	349	34

**その他の内訳**

自分ができること  
 献血  
 アンチエイジングの相談  
 演奏活動  
 趣味を生かしたもの  
 市民会館活動  
 パソコン指導  
 要請されれば参加  
 体調不良でできない  
 わからない

「地域活動」「福祉活動」「環境保護活動」が2桁の割合を示している。「地域活動」「環境保護活動」では男性の関心割合が女性より高く、一方女性は「福祉活動」「育児ボランティア」に高い関心を示している。「育児ボランティア」と回答した男性は1人もいなかった。

**問い19 あなたの住んでいる地域では、地域活動(町内会行事など)が盛んですか。**

項目	回答数(人)	回答割合(%)	男性(人)	女性(人)	性別無回答(人)
盛んである	110	16.9	52	54	4
普通	321	49.3	127	174	20
あまり盛んではない	138	21.2	54	77	7
わからない	62	9.5	26	35	1
無回答	20	3.1	9	9	2
計	651	100.0	268	349	34

**問い19 地区ごとの分類(人数(地区内での構成割合))**

地区	盛ん	普通	あまり盛んでない	わからない・無回答
本庁地区	19人(10.1%)	97人(51.3%)	48人(25.4%)	25人(13.2%)
中妻地区	9(11.9)	31(40.8)	21(27.6)	15(19.7)
小佐野地区	24(21.4)	57(50.9)	17(15.2)	14(12.5)
甲子地区	24(22.2)	52(48.1)	22(20.4)	10(9.3)
大橋地区	1(7.1)	9(64.3)	2(14.3)	2(14.3)
鶴住居地区	24(24.0)	44(44.0)	19(19.0)	13(13.0)
橋野地区	3(30.0)	5(50.0)	2(20.0)	0
唐丹地区	6(14.3)	26(61.9)	7(16.7)	3(7.1)
計	110(16.9)	321(49.3)	138(21.2)	82(12.6)

「盛ん」「普通」の値が、70%を超えていない地区は、本庁16%、中妻15%、鶴住居88%となり、本庁・中妻地区のいわゆる旧市街地では、活動が盛んでないか、わからないなどの回答が比較的多くなっているが、それでもある程度の活動が行われているということがわかる。

郊外地区では「盛んである」との回答が多くなることを予想したが、唐丹地区で14.3%と小佐野、甲子、鶴住居といった新興住宅地区を含んでいる地区より少ない結果となっている。

**問い20 住みよい地域づくり、自立した地域づくりのために住民参加が必要だと思いますが、あなたは**

項目	回答数(人)	回答割合(%)	男性(人)	女性(人)	性別無回答(人)
日ごろから実践	57	8.8	35	17	5
大いに关心	70	10.8	32	33	5
关心がある	313	48.1	123	172	18
あまり关心がない	168	25.8	67	97	4
全く关心がない	16	2.4	2	14	0
その他	6	0.9	0	6	0
無回答	21	3.2	9	10	2
計	651	100.0	268	349	34

**その他の内訳**

引越したばかりで判らない  
 关心はあるが現在の活動と自分の考えにギャップ  
 自立した地域づくり難しい課題だ  
 生活することで精一杯  
 狭い地域では一部の人が仕切っしまい何もいえない

地域づくりへの関心度は、68%の方が「关心がある」という回答となっている。一方4人に1人は地域づくりへの関心がない(少ない)結果となっている。独自の調査であるため、他市町村との比較ができず判断が難しいが、今後、「生活応援システム」の稼働を計画している中、地域の自立がクローズアップされることから、地区住民と行政の協働を具体的にどのように推進するか大きな課題となる。

**問い21 あなたの住む地域の課題の中で、何が解決されることを期待しますか。(新規設問/複数回答あり)**

項目	回答数(人)	回答割合(%)	男性(人)	女性(人)	性別無回答(人)
子育て、教育環境の改善	121	11.6	55	59	7
郷土の歴史・文化の保存継承	56	5.4	31	24	1
地域防災・防犯	183	17.6	81	95	7
健康・福祉関連	271	26.0	105	151	15
都市基盤	195	18.7	87	101	7
地域の連帯感の醸成	123	11.8	56	61	6
その他	40	3.9	20	20	0
無回答	52	5.0	20	28	4
計	1041	100.0	455	539	47

最も高い回答割合は「健康・福祉関連」という結果となった。背景には当市の高齢化率の高さからくる不安、更には最後の自由意見で出されている市民病院の廃止問題も影響として考えられる。

次いで解決されるべき課題として、「都市基盤」19%、「地域防災・防犯」18%という順となっている。調査する側の意図としては、「住んでいる地域」を想定したものであったが、設問の表現が悪かったため、釜石市の課題として回答されているものも多かった。従って、「健康・福祉」「都市基盤」といったものが、定番として上位を占める形となった。

**問い21 その他の内訳**

全般	経済	都市基盤	生活	その他
市全体の活性化 3	仕事が無い 2	公共交通機関の充実	集会所の新設 2	介護士のモラル向上、金儲け施設の横行
郊外がなおざりにされている	企業を増やして 2	バイパスをつくって欲しい	雨水道が壊れ虫が、悪臭が発生している	悪い風習(門付け)の廃止
人口減を食い止めなければ何もしない	景気回復	県道室浜線は危険だ	ラジオが入らない	健康で年金ももらってぶらぶらしている人を見ると胸糞らしい
期待はしていない	給料が安い	平田・源太沢線の道路整備	街灯・ミラーの設置	行政及び政治家の意識改革が必要
	中小・零細企業の再生		家賃が高い	
			子どもの遊び場がない	
			ペットの飼い方マナーがなっていない	
			熊が出るので何とかして欲しい	
			冬は滑り止め用の砂を支給して欲しい	
			ゴミ処理施設の利活用	
			環境整備	
			建物の修繕	

**問い22 あなたは郷土釜石のことについてどの程度知っていますか。(新規設問)**

項目	回答数(人)	回答割合(%)	男性(人)	女性(人)	性別無回答(人)
歴史・文化・地理等ある程度知っている	46	7.1	39	6	1
限定的に知っている	12	1.8	5	5	2
一般的な知識は持っている	229	35.2	111	104	14
あまり自信が無い	272	41.8	83	177	12
ほとんど知らない	57	8.7	15	39	3
無回答	35	5.4	15	18	2
計	651	100.0	268	349	34

今回のアンケートの回答者の85%が居住20年以上であるにもかかわらず、「あまり自信がない」「ほとんど知らない」で全体の50%を占める結果となった。謙遜も考えられるが、思いのほか高い数値となった。そのうち女性が65%を占めていることが特徴的である。

これも、独自の設問であることから比較は難しいが、学校教育の中ではある程度地域の学習を行っているが、それが自信となるまでには至っていない状況にあると思われる。愛郷心を持つことはこれからのまちづくりを行う上で基本となることから、郷土釜石のことを市民一人ひとりが、知識と誇りをもてるような、生涯学習のあり方を進める必要がある。

あなたが考える釜石市の誇れるもの、誇れないものを記入してください。

誇れるもの	人数	誇れないもの	人数	誇れないもの	人数
美しい豊かな自然	43	全体的に活気が無い	16	計画的なまちづくりがされていない	1
海の幸	29	働く場がない(特に若者)	16	ハードよりソフトが弱い	1
海	21	交通が不便(道路全般)	14	建物のデザインが悪い	1
近代製鉄発祥の地	21	商店街・まちが寂しい	13	スーパーが点在している	1
シーウェイブス	13	物価が高い	13	屋外グラウンドの不備	1
気候が良く住みやすい	10	大型店等の商業施設がない	12	シーブラザ	1
山(緑)	8	市役所・行政のサービスが悪い	11	市政での積極性、実行力がない	1
山の幸	8	娯楽施設がない	10	市政での人権意識がない	1
ラグビーV7	8	全体的にPRRが足りない(生かせていない)	9	自然災害で交通が分断される	1
空気がきれい	4	商店が殿様商売	7	駐車場が少ない	1
ゴミの処理方法が良い	4	魚介類が高い	6	市の懇談会での消極性	1
新鮮な食材を提供する店がある	4	観光・イベントが遅れている	6	生活保護者が多い	1
水がおいしい	4	過去の栄光にとらわれすぎ	5	流行に疎い(商店等)	1
新日鐵	4	医療体制が悪い(施設・サービス)	4	他に誇ること自体好きではない	1
港湾	3	施設が貧困	4	魚市場がきたない	1
釜石大観音	3	町並みが美しくない(きたない)	4	国際化していない	1
風土・人情が良い	3	シーウェイブス(チーム・支援体制)	4	福祉サービスが弱い	1
川(街中で鮭が遡上、鮎釣り)	3	人口減	4	空き地が有効活用されていない	1
漁業	2	市民のマナーが悪い(交通・ゴミ処理)	4	高齢化が進んでいる	1
環境が良い	2	町に魅力が無い	4	市が地場産業の育成を怠った	1
風力発電	2	リーダーが不在	3	全国チェーンの店がない	1
湾口防	2	閉鎖的な風土	3	健康ランドがない	1
治安・安全	2	経済の停滞	2	魚を食べるところがない	1
橋上市場	2	市民の諦めムード	2	通学路の安全性が図られていない	1
アウトレジャーができる	1	まちを盛り上げる気持ちがない	2	下水道整備が遅れている	1
五葉山	1	映画館がない	2	夜間の街灯が少ない	1
釜石虎舞	1	行政に一貫性がない	2	市役所の職員が多すぎる	1
釜石の第九演奏会	1	温泉がない	2	市役所に入れたのが疑問な人がいる	1
郷土芸能が多い	1	釜石まつり	2	紹介のしようがない	1
観光	1	道の駅がない	2	希望が見えない	1
仙人峠	1	高校までしかない	2	現状の全てが誇れない	1
甲子柿	1	公衆トイレの不備	2	多すぎて書ききれない	1
災害が少ない	1	障がい者福祉が遅れている	2	小計	32
鉄の歴史館	1	賃金が安い	2	合計	243
合唱	1	物流が悪い	2	無回答	476
市民劇場	1	文化(人)の交流が少ない	2		
農作物	1	若者が少ない(出て行く)	2		
市民歌	1	まちに誇りを持ってない市民が多い	1		
スポーツ活動	1	老人の憩いの場が少ない	1		
トライアスロン	1	参加者がいつも同じ	1		
星座石	1	釜石よいさ	1		
コンパクトで便利な町	1	銘菓がない	1		
道路整備が進んでいる	1	失業者が多い	1		
文化全般が活発	1	税金が高い	1		
老人医療制度が整っている	1	内陸部との格差	1		
なくなった	1	郷土資料館が粗末	1		
計	227	小計	211		
無回答	501				

## 自由意見 行政全般に対する意見

市役所をはじめ政策的な取組みが活発に行われるべき(20代男性、本庁地区、20年以上在住)  
元気で活気のあるまちにして欲しい。(40代女性、唐丹地区、生まれてから)  
小沢市長の強力なリーダーシップが必要(60代男性、本庁地区、在住20年以上)  
港湾都市にふさわしいまちづくり(40代男性、鶴住居地区、在住15～20年)  
過去にとらわれない発想が必要。市政全般にもっと一般の意見を取り入れ、組織の改革が必要(50代女性、本庁地区、在住20年以上)  
過去の栄光にとらわれず、小さなまちづくりを目指すべき(40代男性、本庁地区、在住5年未満)  
活性化をどう図るか、魅力ある地域づくり、何をなすべきか真剣に考え盛り上げていくべき(50代女性、小佐野地区、生まれてから)  
合併もせずどこまでやれるのか、中長期的ビジョンが見えない(50代男性、本庁地区、在住10～15年)  
HPと実際訪れた内容が違うという話を聞く。市の宣伝方法が悪いのでは(30代女性、鶴住居地区、在住5～10年)  
釜石のパワーダウンが全てにおいて見られる。これを打破する政策・行動に期待(30代女性、鶴住居地区、生まれてから)  
釜石のみ合併できないのは何故か。人口に対し議員数、職員数が多い(50代女性、小佐野地区、生まれてから)  
希望もてる釜石を創って欲しい。衰退していくのは悲しい。市民と行政の考え方があまりに違うと思う。チャームを聞いていると昔の釜石を思い出す。後退だ(60代女性、本庁地区、生まれてから)  
行政改革の推進、議員数の削減、市財政の健全化、大槌町との合併推進(60代男性、小佐野地区、生まれてから)  
現状を打破するための市政に重点を(50代男性、本庁地区、在住20年以上)  
広報かまじしを楽しんでいる。地域の話題や行事のお知らせの充実を(50代女性、中妻地区、生まれてから)  
高齢化に伴い人口減も激しく衰退していく。対応策は(50代男性、鶴住居地区、居住5年未満)  
市政の活性化方策(70代男性、小佐野地区、居住20年以上)  
若者が住みやすいまちにするための支援(30代女性、唐丹地区、居住15～20年)  
官公庁の経費は市内で賄うという行政姿勢を希望する(50代男性、小佐野地区、生まれてから)  
市が全ての事柄に消極的(70代男性、甲子地区、居住20年以上)  
市職員、議員の数が多(60代性別不明、中妻地区、生まれてから)  
市職員の市民に対する態度にかなり問題があり(50代女性、本庁地区、居住5～10年)  
市職員の人数が多すぎ。出先の職員は時間を持て余しているように見える。公園の手入れに業者と職員が来てもおしゃべりばかりしている(60代女性、甲子地区、居住20年以上)  
市職員は何の苦も無く給料をもらい、豊かに生活している。無駄を無くしどうしたら黒字になるか考えるべき。職員が多すぎ(50代女性、鶴住居地区、生まれ)  
市政が甘い。民間の方が町を良くしようと戦っている(30代男性、甲子地区、居住15～20年)  
市政に携わるトップの人、関係者は「本気・やる気、でやってください(年代不明男性、甲子地区、生まれてから)  
市職員の資質を良くするための研修。能力があるものを陥れる傾向あり(20代男性、本庁地区、生まれてから)  
市全体として活性化への取組みが少ない(50代男性、中妻地区、居住10～15年)  
市長・市議会議員はもっと目をあけて見てください(70代男性、鶴住居地区、生まれてから)  
市庁舎の早期建設(60代男性、本庁地区、生まれてから)  
市長と市議会議員のなれあい(60代男性、中妻地区、生まれてから)  
市が株式会社であるなら倒産している。今後の道筋を考えて欲しい(70代男性、本庁地区、生まれてから)  
自分の能力に見合ったことを続けること(50代女性、本庁地区、居住20年以上)  
市民への簡単なアンケート調査(市政について)をとるべき(50代男性、唐丹地区、居住20年以上)  
市民の税金で給料をもらっていることを忘れるな(50代女性、鶴住居地区、生まれてから)  
地元の方々満足できるまち(50代男性、唐丹地区、生まれてから)  
市役所が分散しているが、電話を転送できるようにして欲しい。(50代女性、小佐野地区、居住20年以上)  
市役所で働いている夫婦の人たちをどうにかして欲しい。市民は就職難である(50代女性、唐丹地区、生まれてから)  
市役所のサービス向上、税金が高い(30代男性、唐丹地区、居住20年以上)  
市役所を中心市街地に(60代男性、本庁地区、生まれてから)  
主婦が楽しめる場がたくさんあれば良い(40代女性、鶴住居地区、居住20年以上)  
人口減少は寂しい(50代女性、中妻地区、居住20年以上)  
人口減に対する対策は(50代性別不明、本庁地区、居住15～20年)  
新日鐵の依存からの脱却、IT化が進み変化が求められていることを感じて欲しい。感じているのであれば行動に移し形に残して欲しい(30代男性、本庁地区、生まれてから)  
税金の無駄遣いをしない(40代男性、甲子地区、居住5～10年)  
税金を有意義に使って欲しい(30代女性、甲子地区、居住5～10年)  
市役所のリニューアル(40代女性、中妻地区、居住20年以上)  
誰でも気軽に参加できるような雰囲気、活気のあるまちづくりを望む(40代男性、本庁地区、生まれてから)  
地域に根ざした市政であって欲しい(40代男性、小佐野地区、居住5年未満)  
道路開発、商店街、福祉、スポーツなど遠野市を研修してほしい(50代男性、鶴住居地区、生まれてから)  
市役所を早く鈴子へ(60代女性、小佐野地区、生まれてから)  
都市生活が長い、釜石が良いとは思いません。今のままでは沿岸の都市の中で釜石が最低になるような気がします(70代男性、本庁地区、居住5～10年)  
時々アンケートを取り、市政に活用して欲しい(70代男性、中妻地区、生まれてから)  
何ごとも計画をしっかりと立てること。若者を増やすまちづくり(20代男性、大橋地区、居住15～20年)  
早くちゃんとした市役所を建ててください(60代女性、小佐野地区、)  
人々が安心して暮らせる釜石になって欲しい。若者が定着できる釜石に(60代女性、鶴住居地区、居住20年以上)  
防災広報の音楽(市民歌)を歌詞つきで放送してもらいたい(60代女性、大橋地区、生まれてから)  
保守的なもの考えではなく、若者が定着できる環境をつくるよう改革して欲しい(40代女性、小佐野地区、居住20年以上)  
ポセイションスターを保存するのではなく、映画館等に活用して欲しい。文化会館より映画鑑賞に適している(30代男性、唐丹地区、居住20年以上)  
公用車を小さく、受入窓口は大きく。参考にできないならアンケートするな(40代男性、本庁地区、5～10年以上)  
みんなが話し合える場があっても良い(20代女性、大橋地区、居住20年以上)  
昔のような明るい町に(60代女性、小佐野地区、居住20年以上)  
名物が何も無い。自宅を売ってでも釜石から出たい(60代女性、本庁地区、生まれてから)  
役所の人たち感じ悪い。とにかく一部だけ盛り上がっている気がする(40代女性、中妻地区、生まれてから)  
よりよいまちづくりをして欲しい(20代男性、本庁地区、居住20年以上)  
老人から様々な要望を聞く機会をもつ(50代男性、甲子地区、生まれてから)  
老人福祉、教育、子育て、観光、経済活動のどれに重点を置くのかはっきりさせ、市民全体の問題と捉えた方が良い(40代女性、中妻地区、居住20年以上)  
若い人が住みたくなるような魅力ある町にしてください(40代男性、大橋地区、居住15～20年以上)  
若い人が楽しめる活気のある町にしてください(60代性別不明、小佐野地区、居住20年以上)  
若い人たちの意見を取り入れた市政を行って欲しい(30代女性、本庁地区、居住5年未満)  
若い人のために、いつまでも住みたいまち、活気あるまちづくりを望む(70代女性、中妻地区、居住20年以上)  
若者が集まるまちづくり(40代女性、本庁地区、生まれてから)  
若者が定着できるまちづくり(60代性別不明、中妻地区、生まれてから)  
人口減に歯止めをかけ人材の育成に取り組まなければ何も進まない(40代男性、鶴住居地区、生まれてから)  
湾口防波堤、仙人道路の完成など飛躍の時を迎え、人口減に歯止めをかけて欲しい(60代男性、甲子地区、生まれてから)

## 【自由意見】

### 市民生活

市内を走るバスは100円均一に(40代女性、唐丹地区、在住20年以上)  
カーブミラー等の整備環境が良くなることもある(70代女性、鶴住居地区、在住20年以上)  
市の催しや文化会館の催しがあるときは、バスが安い料金で往復できるようにと出かけやすい(60代女性、甲子地区、居住20年以上)  
町内会で建設した集会所を市で補修できないか(60代男性、小佐野地区、生まれてから)  
集える場所が無い(60代女性、甲子地区、居住20年以上)  
テレビ朝日が写らない場所があるので見ることができるよう改善して欲しい(30代女性、本庁地区、居住5～10年)  
隣が誰かわからない生活、行事に参加しない、それが当たり前前の釜石を人と人が分かり合えるように(50代男性、中妻地区、居住20年以上)  
一人ひとりをもっと思いやりをもって協力して欲しい(60代男性、唐丹地区、居住20年以上)  
駅の階段に足腰が不自由な人でも昇れる椅子のエレベーターを(70代男性、本庁地区、居住20年以上)  
集会所は高齢者の方々も無理なく歩いていける距離ある必要がある(年代不明、男性、鶴住居地区、生まれてから)  
ミニバス回遊コースの設定、標識がわかりにくい(40代男性、本庁地区、居住5～10年)  
地区に一箇所、老人が気軽に集まれる場所が欲しい(70代女性、甲子地区、生まれてから)  
和をもって近所とのコミュニケーションをしたい、引きこもりをなくす(60代女性、本庁地区、居住15～20年)  
公的・民間施設全てに洋式トイレを(40代男性、鶴住居地区、生まれてから)

### 福祉・医療

60歳過ぎてでも働きたい人は多い、今後そのような職場を作って欲しい(50代女性、本庁地区、在住20年以上)  
市民病院にかわる医療機関が欲しい(70代、性別不明、甲子地区、生まれてから)  
医療機関の充実をお願いします(60代女性、唐丹地区、在住20年以上)  
医療制度の充実(60代男性、唐丹地区、在住20年以上)  
介護と福祉ばかりが行われている、これからはもっと子どものことを考えほしい(30代女性、甲子地区、在住20年以上)  
組織だった高齢化対策が必要(60代男性、小佐野地区、生まれてから)  
健康が基本なので、市民病院の廃止は残念(年代不明男性、本庁地区、生まれてから)  
健康管理センター的なものがあれば良い(夜間も使える施設)(50代女性、小佐野地区、生まれてから)  
健康講座(栄養等)を開いて欲しい(50代女性、鶴住居地区、生まれてから)  
健康づくりについて気軽に利用できる施設(指導者)近くにあれば良い(60代女性、本庁地区、生まれてから)  
交通が不便で通えないことが多い、身体が不自由でも色々なところに行きたい(50代女性、本庁地区、生まれてから)  
高齢化対策は(70代男性、小佐野地区、居住20年以上)  
医療扶助が多すぎる(30代女性、唐丹地区、居住15～20年)  
仕事の関係で日・祝日の保育が欲しい、子育てしやすい町を目指して、サポーター1H700円は高い(30代女性、小佐野地区、生まれてから)  
自分の身体は自分で守るという意識が必要、生活習慣の改善の実践学習が必要(70代女性、唐丹地区、生まれてから)  
市民が気軽に利用できる温浴施設をつくって欲しい(50代男性、本庁地区、生まれてから)  
市民が健康で楽しく過ごすことができるまちづくりについて考えて欲しい(30代女性、本庁地区、居住20年以上)  
市民の意見を無視した市民病院の廃止には憤りを感じる、再考をお願いしたい(70代女性、本庁地区、生まれてから)  
市民病院の存続(50代女性、本庁地区、生まれてから)  
市民病院の廃止は残念です、老後を安心して暮らせる釜石になるよう願っています(60代女性、本庁地区、居住20年以上)  
乳幼児医療の補助(30代男性、唐丹地区、居住20年以上)  
充実した医療施設(30代女性、中妻地区、居住5年)  
就職先の確保と保育所の増設、時間延長をお願いしたい(30代女性、中妻地区、居住5年未満)  
安全で安心して暮らせるまちづくりが先決(30代女性、甲子地区、生まれてから)  
釜石には身障者が自活できる職場、参加できる娯楽施設がない(身障者の立場から)(60代男性、小佐野地区、居住20年以上)  
小さな子どもと一緒に遊べるもの、または児童館、預かり保育などがあれば良い(30代女性、本庁地区、居住20年以上)  
近くに病院が無く不便、バス代が高くなかなか利用できない(70代女性、本庁地区、生まれてから)  
妊娠時のマタニティ水泳や運動、子育てを学習する機会が欲しかった(30代女性、唐丹地区、生まれてから)  
福祉・医療行政の充実(70代男性、本庁地区、生まれてから)  
福祉のことやこれからの釜石をどうしたら良いか話し合うことが必要(70代女性、甲子地区、居住20年以上)  
市民病院がなくなることが不満(70代男性、本庁地区、居住20年以上)  
ふれあい福祉大会に参加したが、「ふれあい」と銘打っている割に、障がい者とのふれあいが少ない(50代女性、本庁地区、生まれてから)  
保育園の充実と待機児童の減少を希望します(30代女性、大橋地区、居住15～20年)  
保育料の値下げ、出産費用の全額負担、出産後のボーナスなど子どもを安心して産める環境(20代女性、鶴住居地区、生まれてから)  
障がい者と健常者が共生できるように小さな時から学べるシステム(40代女性、小佐野地区、居住20年以上)  
安い老人ホームが欲しい(60代男性、甲子地区、生まれてから)  
リハビリセンターを作ってください(70代女性、本庁地区、生まれてから)  
リハビリと温浴施設を備えた体育施設が欲しい(60代男性、中妻地区、生まれてから)  
障がい者が安全で生活できる釜石であって欲しい(60代男性、唐丹地区、生まれてから)  
老人が安心して暮らせるよう医療施設をもう少し考え欲しい(70代女性、本庁地区、居住20年以上)  
老人が気軽に利用できる海水療法(70代女性、中妻地区、居住20年以上)  
子育て情報をたくさん知らせて欲しい(20代女性、本庁地区、居住5年未満)  
市民病院にリハビリ施設や介護老人保健施設や、病院に入れない人を十分世話するところにして欲しい(70代女性、鶴住居地区、居住20年以上)  
市民病院をリハビリ施設(身体障害、高次機能障害、精神障害等全ての障害)総合病院として充実(40代男性、鶴住居地区、生まれてから)  
地区に一箇所、老人が気軽に集まれる場所が欲しい(70代女性、甲子地区、生まれてから)

## 【自由意見】

### 産業

- 60歳過ぎても働きたい人は多い。今後そのような職場を作って欲しい(50代女性、本庁地区、在住20年以上)
- 安心して働ける職場の確保(50代女性、大橋地区、生まれてから)
- 安心できる雇用の場が必要(20代男性、本庁地区、20年以上)
- 遠野「風の丘」みたいな施設を作って欲しい(40代女性、唐丹地区、生まれてから)
- 魚市場で新鮮な魚介料理を販売してはどうか(60代女性、中妻地区、在住10～15年)
- 大型店に負けない賑やかな商店街を目指す(60代女性、中妻地区、在住10～15年)
- 駅前に大型バス駐車場を整備。シーブラザにシーフード料理店を(60代女性、甲子地区、在住20年以上)
- 温泉があれば良い(70代男性、本庁地区、在住20年以上)
- 活気なく閉鎖的。誰でも参加できるイベントを考えて欲しい(30代女性、中妻地区、生まれてから)
- 市民は休日になると他市に買い物等に出向く、釜石市は空洞化している(40代男性、小佐野地区、生まれてから)
- 新釜石八景は遠方の人が足を運ぶには不便。写真案内で終わってしまう(50代女性、甲子地区、在住20年以上)
- 釜石よいさは大町地区の人たちだけでやっており、それ以外の地区は無関心。企業の参加を希望する。また甲子にも分けてもらいたい(70代女性、小佐野地区、生まれてから)
- 観光開発、景気をよくして(70代男性、鶴住居地区、生まれてから)
- 観光施設が遅れている。またアピールが足りない(60代男性、唐丹地区、在住20年以上)
- 企業が少なく、若者も少ない。釜石に行けば美味しい魚が安いといわれるようになって欲しい(70代男性、甲子地区、在住20年以上)
- 企業誘致(20代男性、小佐野地区、在住20年以上)
- 企業誘致、若者層が増えるよう魅力あるまちづくりを進めて欲しい(30代女性、本庁地区、在住15～20年)
- 企業誘致を推進して欲しい。若者が定着できる施設の充実、外部から人が集まる観光施設や経済の活性化(50代男性、本庁地区、在住10～15年)
- 企業誘致の促進(30代男性、中妻地区、在住20年以上)
- 近隣市は釜石に無い活気がある。色々な業種の店があり、繁盛している。歴史館の回数券の発行を考えては(70代男性、本庁地区、生まれてから)
- 釜石は死んだまち。直ちに地域産業を助長し、若者を再び釜石に戻すよう、市職員一丸となって知恵を出すこと(70代男性、本庁地区、在住5～10年)
- 中村家だけが有名で観光拠点が無い(30代女性、甲子地区、在住10～15年)
- シーブラザ、サンフィッシュなどは地元の人が行かない。釜石はつまらない(30代女性、中妻地区、居住20年以上)
- シーブラザの存在意味が不明。駅との連結で大きなショッピング街やスーパーは必要。市の関係者はもう少し頭を使ってください(40代女性、本庁地区、生まれてから)
- 市街地の活性化(60代男性、鶴住居地区、生まれてから)
- 近隣の市には道の駅を始め町おこしをしている(50代男性、中妻地区、居住10～15年)
- 若者が楽しめる施設の誘致に力を入れる(30代女性、甲子地区、生まれてから)
- 市民が気軽に利用できる温浴施設をつくって欲しい(50代男性、本庁地区、生まれてから)
- 市民農園が近くにあれば良い(50代女性、本庁地区、生まれてから)
- 地元の店だけでは活性化しない。他の大規模店が入ることにより活性化していく。風穴を開けるのは誰か(30代女性、本庁地区、居住5～10年)
- 道の駅、大きなトイレが欲しい(30代男性、唐丹地区、居住20年以上)
- 商店街がどんどん寂しくなっています。ニチイ跡地に大型店を誘致するなどしてください(30代女性、鶴住居地区、居住15～20年)
- 商店街に活気が無く、人通りも少ない(50代女性、中妻地区、居住20年以上)
- ショッピングモールの形成(60代男性、鶴住居地区、生まれてから)
- 商店街の活性化(50代性別不明、本庁地区、生まれてから)
- 温浴施設・レジャー施設 + スーパーが近くにあり相乗効果がある(30代女性、本庁地区、居住5～10年)
- 他市と比べ住民が市の行事に関心を持っていない気がする。市民参加の行事を作って欲しい(50代女性、本庁地区、生まれてから)
- デパートが無くて欲しい買い物ができない(70代女性、本庁地区、生まれてから)
- 遠野には魅力がある店が出店している。釜石にはデパートも無く魅力がある店も無い。他地域から出向くような地域にしてください(50代女性、本庁地区、居住年間を通じた観光誘客の方策を考えるべき(湾口防を利用した海釣り公園等)(60代男性、鶴住居地区、居住20年以上)
- 働く場所が無くて若者が減っている。生涯学習の前に若者が定着するまちづくりをすべき(20代女性、本庁地区、生まれてから)
- 働く婦人の家の講座に行ったが、メリハリがない状態が嫌で参加しなくなった。短い時間をまじめに学習することを希望する。遊び感覚多い(50代女性、本庁地区、居住20年以上)
- 物価が高い。娯楽施設がない(60代女性、小佐野地区、居住20年以上)
- 物価が高い。遠野市に比べてガソリン、野菜、魚まで高いのはどうしてか。土地の高さはもちろんのこと、これでは人口減は止まらない(20代男性、甲子地区、生まれてから)
- 物産展の場所代を安くして欲しい(70代男性、本庁地区、居住20年以上)
- 官民とも積極的に(50代男性、甲子地区、居住20年以上)
- 企業誘致をして欲しい(60代男性、甲子地区、生まれてから)
- 釜石まつりを活気ある行事に(やらされている感じがする)(20代男性、甲子地区、居住5～10年)
- 若い人が釜石市で働く場所を探すことができるように、企業誘致を促進して欲しい(40代男性、本庁地区、生まれてから)
- 若い人たちに働く場を与えてください。老人ばかりでは将来が不安です。(70代男性、中妻地区、居住20年以上)
- 若者が市外に行かなくても仕事ができるまちであって欲しい(40代女性、甲子地区、生まれてから)
- 若者が仕事につき郷土に定住できる市政を期待する(50代男性、甲子地区、居住20年以上)
- 雇用の場の確保がなければ人口も税収も増えない(50代女性、橋野地区、生まれてから)
- 若者の働く場がもっとありますように(50代女性、小佐野地区、生まれてから)
- 若者の働く場を考えて欲しい(60代女性、本庁地区、居住20年以上)
- 景気の回復、雇用の安定等よろしく願います(40代女性、甲子地区、生まれてから)

## 【自由意見】

### 都市(基盤)づくり

大平墓地区公園に永代合葬墓を(70代男性、甲子地区、在住20年以上)  
歌碑や句碑など薬師山に集め、遊歩道を整備し、市民の憩いの場に(70代男性、小佐野地区、在住20以上)  
道路行政をはじめ諸々遅れている。企画立案、即実行が望まれる(70代女性、本庁地区、生まれてから)  
必要のないところに道路をつくったり、救急車が入れない道路をつくっている(30代女性、鶴住居地区、生まれてから)  
釜石の将来は地域文化の発展や天然の良港を活性化するか生きる道は無い(60代男性、本町地区、生まれてから)  
近隣より道路整備が遅れている。早期に行うよう希望(60代女性、本庁地区、在住20年以上)  
路肩の整備、草刈は市のイメージを良くしない(70代女性、鶴住居地区、在住20年以上)  
県立病院付近の道路整備。三陸縦貫道早期完成(70代男性、中妻地区、生まれてから)  
公園等の整備がなっていない。(30代女性、甲子地区、在住10～15年)  
交通体系の整備が進まないため将来の見通しができない(70代男性、小佐野地区、在住20年以上)  
公園はゲートボールに占拠され、球技ができない状況。自転車の乗り入れもダメ。どこで子どもが遊んだらいいのか(30代女性、中妻地区、生まれてから)  
子どもの遊べる公園。(30代女性、本庁地区、居住15～20年)  
道路をいつでも通れるように(平田～花露辺)(60代男性、本庁地区、居住20年以上)  
下水道工事後の道路復旧が悪い(50代男性、小佐野地区、居住20年以上)  
子どもの遊び場、平田・鈴子地区の利用を考えて欲しい(30代男性、唐丹地区、居住20年以上)  
三陸道の早期完成、鶴住居-水海間の道路整備(50代男性、鶴住居地区、生まれてから)  
中央から距離が遠すぎる。高速道路の整備が必要(40代男性、中妻地区、居住10～15年)  
坪内工業団地の道路幅が狭く見通しが悪い。改修できないか。陳情の時だけでなく市内の見回り必要(70代女性、甲子地区、居住20年以上)  
道路整備を早くして欲しい(40代男性、小佐野地区、生まれてから)  
散歩ができる公園づくり(70代男性、本庁地区、居住20年以上)  
釜石市の駐車料金が安い(60代女性、中妻地区、居住20年以上)  
生涯学習以前に生活するための道路網の整備(20代男性、鶴住居地区、居住15～20年)

### 教育・文化

生涯学習は必要に応じて推進するものと思う(40代男性、本庁地区、20年以上在住)  
アンケートの結果を公表し、どのように計画の策定に反映させるか市民に提示して欲しい(60代男性、唐丹地区、生まれてから生まれてから)  
アンケートの結果を無駄にしないで欲しい。市民の健康と経済と心のゆとりがあるように(40代男性、小佐野地区、生まれてから)  
アンチエイジングの活動をして欲しい(50代女性、唐丹地区、生まれてから)  
上中島あたりに屋内スポーツ施設があれば良い(40代女性、甲子地区、生まれてから)  
上中島の多目的グラウンドはウォーキングに最適です。保存してください(30代女性、中妻地区、生まれてから)  
平田に運動で汗を流し、入浴し、食事ができる場所を(50代女性、中妻地区、生まれてから)  
学習・スポーツの面で県内より遅れている。指導者の育成が必要だが、予算・施設が不十分(50代男性、中妻地区、在住10～15年)  
学習相談窓口の設置(生涯学習)(70代女性、中妻地区、生まれてから)  
活動的なまちにすることが生涯学習の推進につながる。そのために施設の充実が必要(40代女性、小佐野地区、在住20年以上)  
歌碑や句碑など薬師山に集め、遊歩道を整備し、市民の憩いの場に(70代男性、小佐野地区、在住20以上)  
釜石中学校についての情報がPTAに伝わって来ないし、不安な人が多いのでは(40代女性、小佐野地区、生まれてから)  
釜石には選べるほどのものも無くつまらない。選択肢も色々あり学習したい気持ちを起こさせるものが欲しい(30代女性、唐丹地区、生まれてから)  
釜石の将来は地域文化の発展や天然の良港を活性化するか生きる道は無い(60代男性、本町地区、生まれてから)  
かもめチャンネルで通信講座をやってはどうか(40代男性、小佐野地区、在住10～15年)  
行事学習会があるときはもっとPRを(60代女性、鶴住居地区、在住5年未満)  
経済的・精神的なゆとりが市民には乏しい。文化的な意識が低いと思う。意識向上のため抜本的に取り組む必要あり(40代女性、本庁地区、生まれてから)  
元気な老人が色々なことに参加できる場があれば良い(30代女性、小佐野地区、在住15～20年)  
健康講座(栄養等)を開いて欲しい(50代女性、鶴住居地区、生まれてから)  
講演会は平日の昼間ばかり、仕事をしている人のため、夜や日曜日も企画して欲しい(30代性別不明、中妻地区、生まれてから)  
交通が不便で市街地に出ることが難しい。地域での活動の場があれば良い(70代女性、鶴住居地区、在住20年以上)  
広報釜石の中に学びのページをお願いしたい。同好会を募り講師を探すのが大変(60代女性、唐丹地区、生まれてから)  
高齢化で生涯学習が良い方向に行っているが、子どもや孫に伝えることが大切(30代女性、中妻地区、生まれてから)  
個人個人に合った生涯学習プランを提案できるシステム作っては。民間の教育施設のように(30代男性、甲子地区、居住5～10年)  
体育館やホールなどもっとあれば良い(30代女性、本庁地区、居住15～20年)  
五葉山に関する学習開催(子ども、高齢者対象)、自然観察指導員(ボランティア)育成(60代男性、甲子地区、居住20年以上)  
これからの社会を担う子ども達の支援(40代女性、唐丹地区、居住15～20年)  
余裕がなければ生涯学習もままならない(50代男性、小佐野地区、生まれてから)  
参加者の多さではなく、本当に良い活動に対し助成、自立支援をしてください(20代男性、小佐野地区、居住20年以上)  
ラグビーに対してはそれほど魅力を感じない市民も多い。地道に力をつけている競技を見つけてください(20代男性、小佐野地区、居住20年以上)  
シーウェイブは個々に強くなれば自然に有名になる。応援も結構だがその前に力を入れるべきことが一杯あるはず(50代女性、本庁地区、居住20年以上)  
シーウェイブを生かし、合宿・有料試合ができるグラウンドの整備。一流プレーヤーとの交流(30代女性、本庁地区、居住5年未満)  
市が主体となり、パソコンのスキルアップ(20代男性、中妻地区、居住10～15年)  
史跡を大切に(60代男性、本庁地区、居住20年以上)

## 教育(つづき)

施設指導者を増やして欲しい(40代男性、中妻地区、居住20年以上)

施設の整備充実(20代男性、本庁地区、生まれてから)

施設を整備し全国規模の大会を誘致(70代男性、中妻地区、居住20年以上)

自然が多いのにウォーキングの場所があまりに少ない、プールの使用料が高くて健康のためであってもためらう(40代女性、中妻地区、生まれてから)

時代に合った学習(パソコン)(70代男性、甲子地区、生まれてから)

市の施設が殆ど月曜日休みのため不便で利用できない(50代女性、中妻地区、居住20年以上)

市の催しや文化会館の催しがあるときは、バスが安い料金で往復できるようにと出かけやすい(60代女性、甲子地区、居住20年以上)

市民がいつでも参加できる体制づくり(50代男性、本庁地区、生まれてから)

市民がいつでも参加できるよう、閉鎖的にならないようお願いしたい(50代女性、中妻地区、生まれてから)

市民交流センターの講座の回数が減ったと聞いた。できるだけ回数は維持して欲しい(20代女性、本庁地区、生まれてから)

市民文化会館を文化活動の中心に位置付けた活動を展開して欲しい(70代男性、本庁地区、生まれてから)

サッカーのナイター整備(30代男性、唐丹地区、居住20年以上)

サークル・クラブ活動の案内をもっと市民に提示して欲しい(30代女性、中妻地区、居住5年未満)

主婦なので市内で参加できる大会があればよい、地区対抗レク(30代女性、唐丹地区、生まれてから)

自分には趣味があるので十分(60代女性、甲子地区、生まれてから)

生涯学習事業をハローワークのようにパソコンで検索できるシステム(20代女性、本庁地区、居住15~20年)

生涯学習が具体的に何をやっているか具体的には判りません(60代女性、小佐野地区、生まれてから)

生涯学習を今後様々な方向で推進していただきたい。積極的に進めるべき(40代男性、小佐野地区、生まれてから)

新釜石中学校までの通学路を考えて欲しい(バス運行)(70代性別不明、本庁地区、生まれてから)

学習効果を実践できる場所の充実(50代性別不明、本庁地区、生まれてから)

スポーツ施設の無料開放(20代男性、鶴住居地区、生まれてから)

スポーツ振興によるまちづくりを目指しているのであれば、将来どのようにしたいかを考え、それに沿って進んでもらいたい(40代男性、本庁地区、居住20年以上)

総合運動施設の建設(40代女性、中妻地区、居住20年以上)

体育施設をしっかりした方がよい(30代男性、小佐野地区、生まれてから)

退職して自由人の有識者がいる。各分野で活用して欲しい(60代男性、小佐野地区、居住20年以上)

他市ではスポーツ行事を市がサポートしたり、場所や施設の充実が見られる(30代女性、本庁地区、居住5~10年)

地域活動を通じて明るい町、住みよい生活を続けていきたい(50代女性、本庁地区、生まれてから)

小さなことでも生涯学習になる。それがまちづくりにつながっていく可能性があることをPRして欲しい(30代男性、本庁地区、居住20年以上)

都合の良い時間にパソコンを気軽に教えてもらいたい(50代性別不明、鶴住居地区、生まれてから)

集える場所が無い(60代女性、甲子地区、居住20年以上)

生涯学習は意義があることなので、釜石市が取り組んでいる活動を継続してください(60代男性、大橋地区、居住20年以上)

テニスコートが少なすぎて始めることもできない。やりたい人はいっぱいいると思う(30代男性、中妻地区、生まれてから)

出前講座の催しをもっと増やして欲しい。(40代男性、橋野地区、居住5年未満)

何か一つ生活の目標になるものを選びたい(40代女性、鶴住居地区、生まれてから)

何かをやりたい楽しく過ごしたいと思う人はたくさんいる。そのため色々な情報が欲しい(30代女性、小佐野地区、居住5年未満)

何らかの横のつながりを大切に(60代女性、中妻地区、生まれてから)

人間として一番大切なのは命。又は心のあり方の学習が必要(60代女性、鶴住居地区、居住20年以上)

妊娠時のマタニティ水泳や運動、子育てを学習する機会が欲しかった(30代女性、唐丹地区、生まれてから)

働いている人も利用できる時間を考えて欲しい(プールの開催時等)(50代女性、中妻地区、居住20年以上)

暇の無い世代の生涯学習にも目を向けて欲しい。郷土文化はもちろんだが若者が憧れる都市文化の取り入れも必要(40代男性、本庁地区、生まれてから)

老人でもできるサークル活動(70代男性、本庁地区、居住20年以上)

学びたいと思ったときに釜石ではできないのではないかと感じてしまう。大半は興味を引くものがない。多くの人が集まり楽しい施設をつくるのが大切(20代女性、本庁地区、生まれてから)

集まる場所を確保して欲しい(50代女性、本庁地区、生まれてから)

もっとスポーツのできる施設を増やして欲しい(20代女性、本庁地区、生まれてから)

横文字は関心できない。日本語で書いてください判りやすく(70代女性、小佐野地区、居住20年以上)

世の中の流れ、家庭の事情全て思うように行かず、虚しい日を送っている(70代性別不明、中妻地区、生まれてから)

夜にできる学習会(40代女性、本庁地区、生まれてから)

ラクビーのまち釜石を掲げているが、地域との一体感がない(70代女性、本庁地区、生まれてから)

郷土資料館をあのようなどころではなく、きちんと博物館として作ったほうが良い。文化施設を簡単に済ませないで欲しい(30代女性、本庁地区、居住5年未満)

若者定着のための基盤作り、ゆとりをもってはじめて生涯学習だと思う(50代男性、甲子地区、居住20年以上)

岩手大学に一日体験入学してみたい(60代女性、唐丹地区、在住20年以上)

リハビリと温浴施設を備えた体育施設が欲しい(60代男性、中妻地区、生まれてから)

地区に一箇所、老人が気軽に集まれる場所が欲しい(70代女性、甲子地区、生まれてから)